

合格占有率が非常に高く、忙しい自分でも安心して学習を継続できる
フォロー体制が整っていること、
初学者の私でも基礎からしっかりと学習をおこなうことができると感じたためです。

牧田 龍太郎さん

66 複数の予備校に通うという選択肢は私の中ではなかったため、

合格者占有率の高い予備校に通うことが合格への最短ルートであると考えました。

大井上 広樹さん

99 合格実績からTACしかないと思っていました。受験をするライバルの多くがTACの受講生であり、答案練習や模試を通じて自分の位置を把握できる
河野 航さん

不動産鑑定士試験の合格者のうち、大半をTAC生が占めていると知ったためです。

また、体験授業の分かりやすさも、学生時代より勉強から足が遠のいていた私にとって非常に感動し、その日にTACへの申込を決めました。

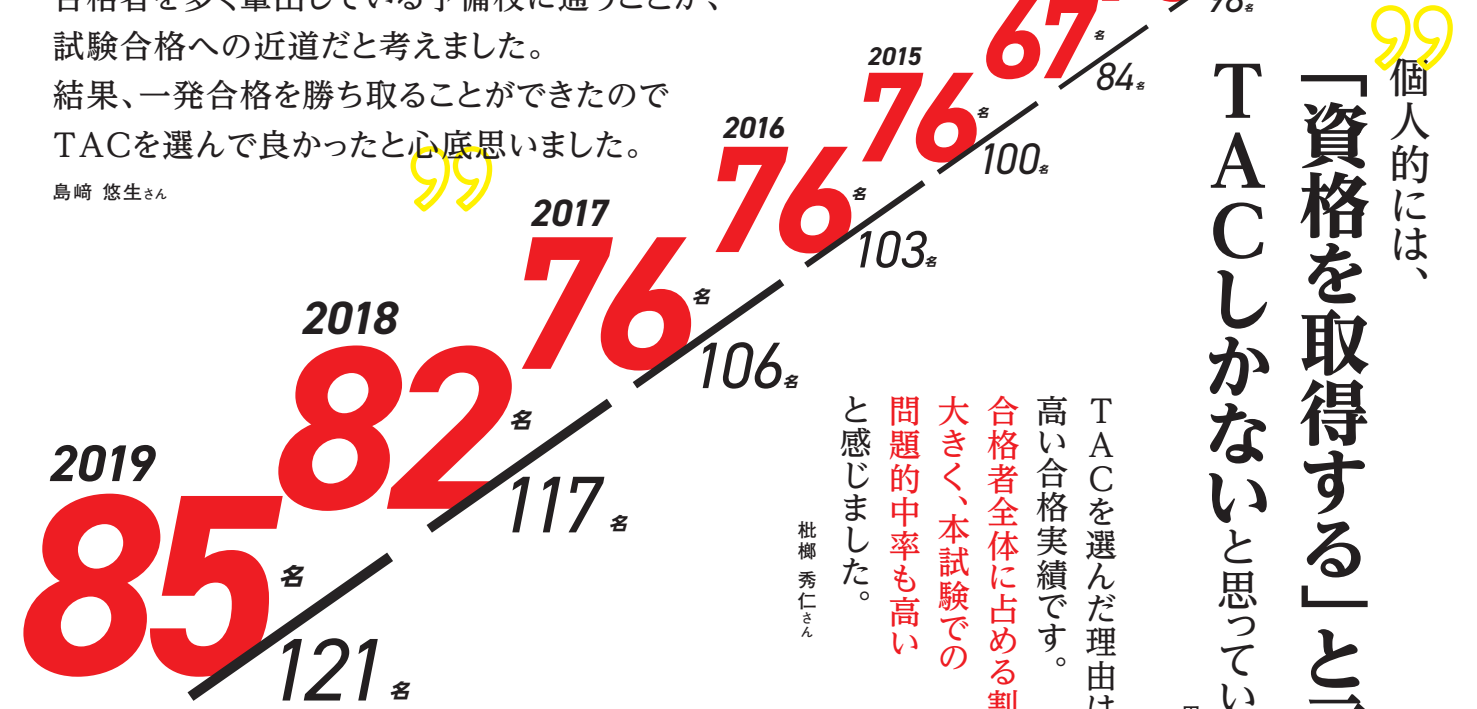
田中 美希子さん

66 TACがシェアナンバーワンを誇っていたからです。

合格者を多く輩出している予備校に通うことが、試験合格への近道だと考えました。

結果、一発合格を勝ち取ることができたのでTACを選んで良かったと心底思いました。

島崎 悠生さん



TACを選んだ理由は高い合格実績です。合格者全体に占める割合が大きく、本試験での問題的中率も高いと感じました。

枇榔 秀仁さん

99 個人的には、「資格を取得する」と言えば、TACしかないと思っています。

田畑 美智子さん

66 合格実績的にはずれないと思って、あまり他社さんと比較することなく決めました。

増子 智也さん

TACの合格者占有率が高く、合格するためには一番の近道だと考えたためです。また、**答練や模試などの結果が本試験の結果に直結する**という点も、その結果を分析して次の勉強に活かせるという点で優れていると考えました。

萩原 千陽さん

2011年から11年間(2011年~2021年度)累計の合格者1220名中、TAC不動産鑑定士講座講座生^{※1}合計は894名、11年間累計の合格者占有率^{※2}は73.2%でした(2021年12月10日現在)。

2011-2021

11年間累計の不動産鑑定士論文式試験

TAC講座生^{※1}合格者占有率^{※2}

73.2%

だから**TAC**は合格に近い!

圧倒的な合格実績。

※1 講座生とは各目標年度の試験に合格するために必要と考えられる講義・答案練習・公開模試・法改正等をパッケージ化したカリキュラムの受講者です。講座生はそのボリュームから他校の講座生と掛け持ちすることは困難です。
※2 合格者占有率は「TAC講座生^{※1}合格者数」を「不動産鑑定士論文式試験合格者数」で除して算出し、小数点第2位を切り捨てています。